

# S&Uだより

2020年2月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No267

「こんなはずはない！」と いぶかりながら一月が過ぎました。ひと月雪が降らないだけで こんなにも穏やかなのだろうか？と、ありがたくもあり、いぶかしきもある今年の冬です。

寒くなると大流行と言われていたインフルエンザも 暖かい時期であっても流行り続け 一年を通じ気が抜けない様相でした。2020年が明けたところで 突然現れたのが 中国武漢で発生した「新型コロナウイルス」です。当初は「感染率は低く 人から人へはうつらない、子供にはうつらない」などと楽観的な発表でしたが あれよあれよといううちに感染者数はうなぎのぼり、死者数も増え 中国国内はもちろん 国外の感染者も発生し「実は年末に海外なども含め 500万人が移動したが その時から流行していたのだ」という 中国の隠蔽体質を取り上げた説や 武漢には生物化学研究所があつて そこから漏れたウィルスであり 作為的なものかもしれないなどという陰謀説まで出てきています。

平成になって30年を振り返ると 新しい感染症が取りざたされてきました。

これまでになかった感染症を「新興感染症」、抑え込んだと思われていたものが再びはやりだし、問題になる可能性があるものを「再興感染症」と呼んでいるそうです。これらがいろいろと議論されるようになったのは 20年ほど前からだということです。その時代、一番問題になっていた新興感染症が「鳥インフルエンザ(H5N1)」(1997)でした。鳥から鳥に感染するだけでなく、鳥から人間にもうつり、重症化する事例があることも判明。人から人へと広がりやすくなったら「新型インフルエンザ」になるかもしれないという恐怖をみんなが持つようになり、研究や対策が進んだ、たぶんそれが皮きりだったと思います。

そうこうしているうちに、本当に世界を動かしたのが「サーズ(SARS、重症急性呼吸器症候群)(2003年)でした。

2002年11月、中国で原因不明の肺炎が集団発生し、原因が分からないまま感染が拡大していきました。台湾の症例を最後に、2003年7月にWHOによって終息宣言が出されましたが、32の地域と国にわたり8000人を超える症例が報告され、世界中がパニックになりましたし、日本でもパニックが起きました。

今回は1週間足らずで 感染者が倍増するという サーズを上回る驚異的な速さで広がり続けています。

中国の予想では3、4月に収束するとの報道ですが 台湾や米国の予想では 4、5月がピークで 6、7月に収束に向かうとのこと、どちらが信頼性の高い情報かという 誰しもが後者だろうと思うのはいたしかたありません。

新型コロナウイルスの発生源は「非合法に売られていたコウモリ」との報道があります。前回の SARS の時は「ハクビシン」が原因だったといわれています。

しかし、なぜ、中国人は危険な病原菌を持つ野生の動物を好んで食するのでしょうか。今回のウィルス発生源と見られる武漢の海鮮市場では、魚介類に加えて、ジャコウネコ、オオカミ、キツネ、ネズミ、ヘビ、ヤマアラシ、カメなど 100種類の生き物を売っていたそうです。前回の SARS 発生直後にはこうした野生動物の肉を食べる人の数は一時的に減少したといわれています。しかし、2年もすると、再び、ハクビシンの売り上げは元に戻っているようです。それだけ中国人の間では、こうした野生動物の肉が好まれているのだそうで・・・

長年にわたり、食糧不足に苦しんできた中国では、「食べられる物は何でも食べる」という習慣が定着しているあいだは中国人が食文化を根本的に変えない限り、こうした問題の再発は押さえられないのかもしれませんが。

もう今では食糧問題は解決されているはずなのですが、「珍しい生き物を食べることは多様な民族で構成される中国では歴史に根差した民族の誇り」でもあるようです。日本もまあ欧米諸国からみれば同じに見えるのかもしれませんが・・・。生物化学研究所の説は 実際本当だったとしても 中国が認めるはずもなく 収束宣言される頃にも やはり特異な食生活が原因だろう ということでも落ち着くのではないかと思います。

また、インフルエンザのように 抗生物質を使い続けていると、細菌の薬に対する抵抗力が高くなり、薬が効かなくなる耐性を持った薬剤耐性菌が発生するといわれています。「タミフルのように何回も飲まなくてすむ」というソフルーザですがこれがまさに耐性菌の発生が発見され使用を停止するところも出ているようです。いずれにしても 新型コロナウイルスのワクチン等が出回るのはまだまだ先のです。かからないのが一番、手洗い予防をしっかり心がけたいものですね。

## マルジン 2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

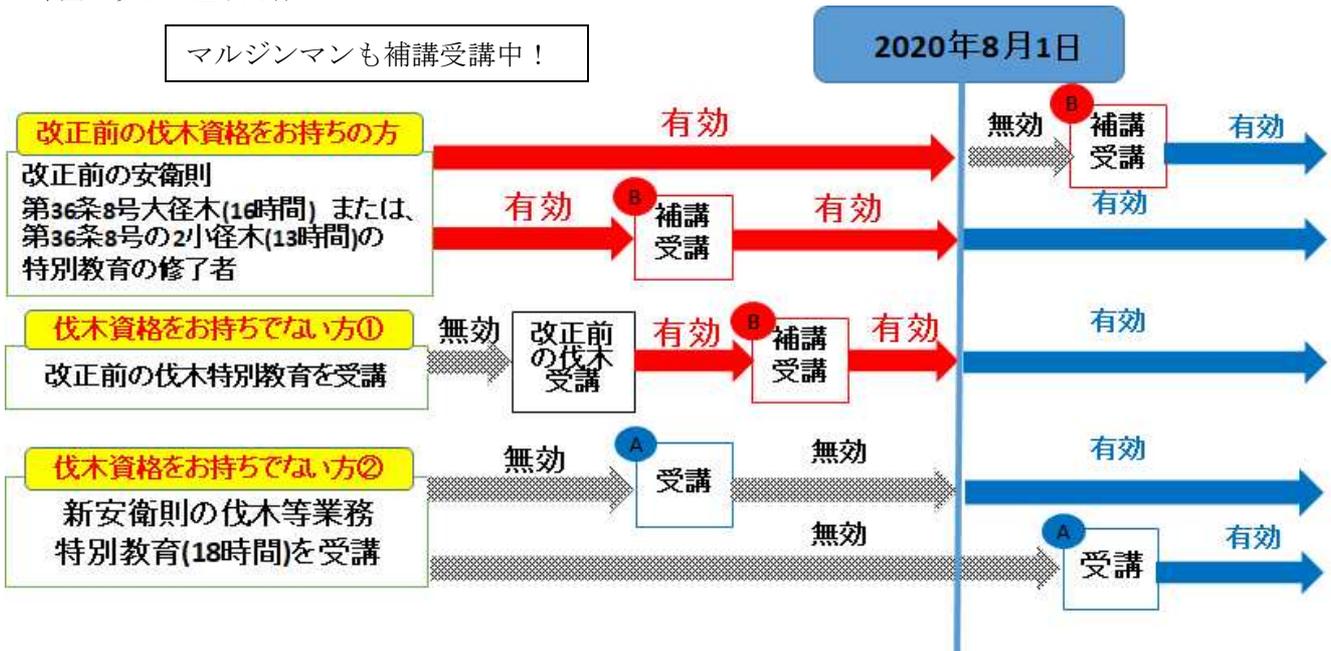
### <マルジンマン 随時受講中！>

2020年8月1日以降、  
改正された特別教育を修了していなければ、  
伐木等の業務に就くことが出来なくなります。  
大変混み合ってはおりますが  
受講は必須と認識して受講しています。  
また お声かけてくださいね！

## 2020年2月第267回は～伐木作業の安全衛生規則改正～について

<2020年8月1日以降、改正された特別教育を修了していなければ、伐木等の業務に就くことが出来なくなります。>  
厚生労働省は、伐木作業等における労働災害を防止するために、労働安全衛生規則の一部を改正し、伐木作業等における安全対策を強化することにしました。林業、土木工事業や造園工事業など、業種にかかわらず、伐木作業等を行うすべての業種が対象となります。林業における労働災害による死亡者数は年間40人前後で推移しており、平成23年以降改善がみられていません。死亡災害の約6割はチェーンソーによる伐木作業時に発生しており、また、休業4日以上死傷者の起因物では、立木(りゅうぼく)等が約3割、チェーンソーが約2割と多数を占めています。  
厚生労働省は、「伐木等作業における安全対策のあり方に関する検討会報告書」(平成30年3月6日公表)を踏まえ、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号。以下「安衛則」という。)の一部を改正しました。

<今回の改正の主な内容>



※ チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育について、伐木の直径等で区分されていた特別教育を統合し、時間数を増やします。

(安衛則、安全衛生特別教育規程(昭和31年労働省告示第0212-9号。以下「特別教育規程」という。)の改正)

※ 伐木作業等における危険を防止するために、以下のとおり規定します。(安衛則の改正 受け口を作るべき立木の対象を胸高きょう直径40FP以上のものから20FP以上に拡大する等、立木の伐倒時の措置を義務付けます。

※ 事業者に対して、かかり木の速やかな処理を義務付けるとともに、事業者及び労働者に対して、かかり木の処理における禁止事項を規定します。

※ 事業者は、立木の高さの2倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてはならないこと等を規定します。

※ 事業者は、チェーンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること、また、当該労働者に、当該切創防止用保護衣を着用することを義務付けます。その他

特別教育(安衛則第36条、特別教育規程第10条)関係

1. 伐木等の業務に係る特別教育の科目について、十分な知識及び経験を有していると認められる以下の労働者
2. 改正前の安衛則第36条第8号に定める特別教育(ただし、チェーンソーに関する知識の科目、振動障害及びその予防に関する知識の科目を含む。)を修了した労働者
3. 改正前の安衛則第36条第8号に定める特別教育(ただし、チェーンソーに関する知識の科目、振動障害及びその予防に関する知識の科目の双方を除く。)を修了した労働者
4. 改正前の安衛則第36条第8号の2に定めるチェーンソーを用いて行う立木の伐木等の業務に関する特別教育を修了した労働者

なお、改正による新たな特別教育の適用日(令和2年8月1日)より前に、改正後の特別教育の科目の全部又は一部について受講した方は、当該受講した科目を適用日以降に再度受講する必要はありません。伐木の直径等で区分されている、チェーンソーによる伐木等の業務に係る特別教育を統合します。また、統合後の特別教育の時間数を増やします。既に特別教育を修了している方(※)は、統合後の特別教育の科目の一部の受講が免除されます。胸高直径が70cm以上の立木の伐木、胸高直径が20cm以上で、かつ、重心が著しく偏している立木の伐木、つりきりその他特殊な方法による伐木又はかかり木でかかっている木の胸高直径が20cm以上であるものの処理の業務(伐木等機械の運転の業務を除く。)チェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務(※1の業務を除く。)

※講習は林災防等で受講しておりますが 期限近くなると大変混み合うと思われます。該当者はお早めに受講ください。